

第52回 大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会

令和元年11月22日（金）

部会 高等学校

「堺市立美原図書館ティーンズエリアを紹介します～高校とのつながり～」

提案：堺市美原図書館 下村友佳子先生

質疑応答

* 中学校の先生より質問

- 心が傷ついた生徒が来館したときにおすすめる本はあるか？
→まずは、話をしに来てくれることが大切なので、本は勧めない。
図書館がほっとできる居場所になることが一番。
- ティーンズコーナーにはどのような本を置いているのか？
→中高生が主人公の本を選んで置いている。
司書本人の感覚で選んでいる。
- 高校と図書館の連携はどのくらいの頻度で行っているか？
→年4回＋チラシを持っていく時に交流している
- 選書の基準は？
→古典作品を増やしたいが、ティーンズエリアで使える予算は限られているため
増やしたくても増やせない状況

* 感想

- 司書と学校が一緒になって子どもを育てることが大切
- 学校図書館が心の拠り所になるのは素敵
- 背表紙を見て子どもは本を選ぶので、選書の時に表紙を重視することも大切
- 工業系図書が書籍になっておらず、ネットで見るとも予算がないことが悩み
- 小学校⇄図書館の連携はよくしている
- 来館者数を増やすためには子供が好む今風の本を選書することも大切
- 高校では図書館を常時開館しておく人員がない
- 学校図書館は、開館して活性化していくことが大切